



白バラ牛乳
大山乳業農業協同組合

酪農だより

Vol.
690

令和元年7月号

あなたへ贈る「白の一滴、心の一滴」～酪農家の心を食卓へ～

今月の特集

大山乳業農協の挑戦

白バラ認証制度始動

現場潜入

白バラほうじ茶オ・レができるまで

各種活動レポート

指導課通信

大山乳業農協からのお知らせ

この牧場の牛乳を飲んでみたい



大山乳業農協の挑戦 白バラ認証制度始動



組合創立70周年を機に策定した 「白バラ酪農ビジョン」

今から3年前の2016年、大山乳業農協は創立70周年を契機に、10年後の鳥取県酪農を見据えた「白バラ酪農ビジョン」をまとめ、記念式典の場で発表しました。

このビジョンは、高齢化や後継者不足により全国的に戸数の減少・生産量の減少が続くなか、「魅力ある酪農」の実現により戸数減少への歯止めと、生乳生産量の回復を目的として定められました。

ビジョンでは、10年後の達成目標として

1. 生乳生産量6万トン以上
2. 出荷戸数100戸以上維持
3. 粗飼料自給率5%以上アップ
4. やりがいのある酪農所得の実現を掲げました。

その為のミッションとして

- ①良質生乳の確保
- ②担い手の確保
- ③良質な自給飼料の確保
- ④多様な酪農経営モデルの推進の4つを設けました。

今年4月より始まった「白バラ認証制度」はミッション①「良質生乳の確保」へ向けた対策として、大山乳業農協が鳥取県・中国生乳販連などの協

力を得て策定しました。

白バラ認証制度規程の第1条には、「この牧場の牛乳を飲んでみたい」と思えるような牧場づくり」という一文があります。

より多くの消費者の方へそう思っていただけのような生乳生産を目指し、この認証制度はスタートしました。

鳥取県の生乳は全国でもトップクラスの乳質を維持しており、それは生産者の意識の高さと日々の衛生管理の賜物であることは他でもありません。

そのような日々の取り組みを定期的に第三者がチェックし、外部から見える形で評価することにより良質生乳の維持向上を図ります。

大山乳業農協だからこそできる 「白バラ認証制度」

現在、国内においてメジャーな認証制度に、農場HACCPやJGAPといったものがあります。どちらも安心・安全な食料生産のために農場の衛生管理・作業管理を認証するものですが、基本的に個々の牧場が申請し認証を受けるもので、鳥取県の酪農に関しては合乳となるため全体で取り組む必要があります。

一方で、白バラ認証制度は酪農現場



1 2



3 4



1. 認証牧場に掲げられるプレート
2. 巡回審査のようす
3. 衛生管理区域を知らせる看板
4. デーリィキッズサポート
5. 婚活イベント「カウィーの恋物語」のようす
6. 牛舎の環境整備(暑熱対策)



5 6



より良質な生乳生産のために 行う鳥取県独自の取組み

白バラ認証制度に先立ち、鳥取県独自の施策として始めた取組みがあり

白バラ認証では年2回、春と秋に鳥取県職員と大山乳業農協職員が牧場を訪問して行う巡回審査と、年末に巡回審査の結果を受けて中国生乳販連の審査員が加わり行われる認証審査があり、そのすべてに合格することで白バラ認証牧場として認められ、牧場には認証プレートが掲げられます。

に合わせた取り組みやすい内容で、かつ鳥取県全体で取り組むことにより、全牧場の底上げを図ります。

このように県全体が一丸となって良質生乳の生産に取り組めるのは、1県1組合1工場という、全国でも珍しい成り立ちである大山乳業農協の、他では得難い強みとも言えます。

まず。

まずは全農家への自記温度計の設置です。生乳の衛生管理において重要となるのが生乳の温度管理です。

自記温度計とは、その名の通り搾乳した生乳を貯め置くタンク内の温度を自動的に記録する装置で、温度の監視のほかタンク内を攪拌するモーターの作動なども記録でき、異常があった際にはすぐに対応ができるほか、従来は集乳の際にしか確認できなかった生乳の温度を常に把握することができるようになりました。

現在、自記温度計が全農家へ設置されているのは、都府県では鳥取県のみとなっています。

次に、全牧場への衛生管理区域の看板設置を行いました。

家畜伝染病などの防止のため、牧場の牛舎も食品工場のように衛生管理区域を定め、部外者が無断で立ち入ら

ないように周知するほか、従業員、飼料会社、製薬会社、県の職員、農協の職員など、牛舎へ立ち入る関係者へ車両・靴の消毒、訪問者記録簿の記入を促すメッセージも記載されています。

「この牧場の牛乳を飲んでみたい」 そう思われる牛乳を

大山乳業農協では、酪農ビジョンで見据えた10年後の鳥取県酪農の目標を達成するため、さまざまな側面から鳥取県の生産者をサポートしています。

次世代を担う子どもたちと親の交流の場「デーリィキッズサポート」、後継者確保のための婚活イベント「カウィーの恋物語」、暑さに弱いホルスタイン種が少しでも快適に過ごせる環境づくりのための「暑熱対策」、長年の使用により劣化が進んだエサ場を、

清掃しやすく衛生的なものへ改良する「飼槽改善」など、その取り組みは多岐にわたります。

白バラ認証制度は春の巡回審査が終了し、秋の巡回審査、年末の認証審査と行われますが、この取り組みは1年で終わるものではありません。

認証を受けた牧場でも翌年の審査で不合格となることもあります。消費者の方へ「この牧場の牛乳を飲んでみたい」と思っていただけのような生乳生産を続けていくため、生産者と大山乳業農協はこれからも二人三脚で取り組みを進めていきます。



夏季期間限定製品 白バラほうじ茶オ・レが できるまで

開発担当者のこだわり
「香料・着色料不使用」



今回の現場潜入は、7月1日から夏季期間限定製品として発売している「白バラほうじ茶オ・レ」です。

大山乳業農協の乳飲料シリーズでは初の製品で、多くの人に馴染みのある「ほうじ茶」を使用しました。

原料のほうじ茶は国産のものを使用し、ほうじ茶本来の味わいと香りを大切にしながらも、あっさりとしたイメージに仕上げています。

開発段階で担当者がこだわったのは、乳とほうじ茶の「味」と「かぐわしい香り」の融合を重要視！何度も試作と試飲を繰り返し、約10種類の中から最も乳と相性の良いほうじ茶パウダーを選定しました。

試作途中ではほうじ茶の「香り」が弱く、香料の使用も検討していましたが、ほうじ茶本来の上品な香ばしさを感じてもらうため、あえて香料を使用せず作り上げました。また、着色料も使用しておらず、ほうじ茶のやさしい色合いを活かしています。

コーヒーや紅茶に比べてカフェインが少ないほうじ茶と、大山乳業農協の牛乳を組み合わせた白バラほうじ茶オ・レは、幅広い年代の方



1 2



3 4



1. 新製品が出来上がるまで何度も会議を重ねます
2. 試作室では日々試行錯誤が繰り返されています
3. 大きな機械が並ぶ市乳・ヨーグルト工場の中
4. 整形された製品が出来上がってきました
5. 直売所ではさっそく手に取るお客様の姿も
6. ぜひ一度飲んでみてください！



5 6



におやつやリラックスタイムのお供としておすすめです。

ほうじ茶オ・レの製造工程をレポート



白バラほうじ茶オ・レはいいのだのように造られているのでしょうか？市乳・ヨーグルト工場へいざ、潜入です！

清潔に保たれた広い工場内では、お馴染みの白バラ牛乳や白バラコーヒーも製造されており、日々、安心・安全な製品造りに取り組んでいます。

白バラほうじ茶オ・レは、まず乳製品や、ほうじ茶などの原材料が大きなタンクに投入され、大きな羽根で混ぜ合わされます。使われるタンクはなんと2000Lも入る大きなタンクです。大きな羽根により

しっかりと混ぜ合わさった液体のほうじ茶オ・レの素は、パイプラインを通じて次工程に移って行きます。

サンプルを取り、成分の検査を行い合格すると、いよいよ製造も佳境に！ホモゲナイザー（均質機）により脂肪等の大きさを細かく砕き均一にすることで滑らかなのど越しを作り出し、その後殺菌・冷却され、殺菌されたタンクに貯められ、充填の順番を待ちます。

いよいよパック詰め！パイプラインの中を通り、屋根型の紙パック充填機によって、冷えたほうじ茶オ・レがパックに詰められ、製品が続々流れていきます。金属探知検査・重量チェック・期限印字とチェックの作業を行い、全ての工程をクリアしたものが箱に詰められ、冷蔵庫内に流れて行きます。出来上がった製品は、検査課で成

分検査・微生物検査・官能検査を行い、安全性と品質の確認作業が行われます。

さあ、合格した製品がお客様の元に出発する時が近づいてきました。こだわりの製品たちは出荷されるのを今か今かと待っています。

コンビニ各社から採用続々



白バラほうじ茶オ・レはどこに出荷されるのかというと、鳥取県内量販店はもちろん、関西・北陸の大学生協のコンビニエンスストアや関西の量販店でも販売されています。

「ほうじ茶オ・レ」や「ほうじ茶ラテ」と呼ばれる製品は近年20代〜40代の女性に人気のあるフレーバーと言われています。また、カフェインが少なくことから特に健康志向の方が好ん

で買い求められ、コンビニ各社はこぞってPB商品を開発しています。

驚くのは、その中でも大山乳業農協の白バラほうじ茶オ・レの採用が続々と決定しているということです。

開発時から譲らないこだわりだった香料・着色料不使用という特徴が各社の製品と一線を画す個性となり強みになっているよう。

現在、コンビニでは、ローソン（中四国エリア）、ポプラ、ファミリーマート（中四国・関西エリア）で採用が決定しています。

また、パッケージには鳥取県コラボデザインとして、鳥取砂丘で楽しめるアクティビティ「ファットバイクツアー」が描かれています。

期間限定製品ですが、1人でもたくさんの方に飲んで頂けると嬉しいです。お見かけの際はぜひお試しください！

営業所レポート

京都生協

「初夏の鳥取フェア」開催

6月8日(土)、9日(日)の2日間、京都生協店舗にて初夏の鳥取フェアが開催されました。

生産者として、谷永栄治さんと岸本忍さんにご参加いただき、2日間8店舗で産直商品のせいきょう牛乳と生乳100%プレーンヨーグルトの試飲・試食販売を行いました。

商品のPRを行うなかで、多くの組合員さんから「いつも飲んでいます」、「おいしい牛乳をありがとうございます」といった励ましの言葉をいただきました。

また、いつもは別の牛乳を飲んでおられる方にもおすすめしたところ「おいしいね、これからはせいきょう牛乳にしようかな」と購入される方も多くおられました。

今回の鳥取フェアには営業課の新入職員2名も参加し、慣れないなかではありましたが、積極的に組合員の皆さんに商品のおすすしめをしている姿が見られ、新入職員にとっても貴重な学びの場となりました。

次回の鳥取フェアは9月に予定されており、今回以上に多くの組合員さんと交流をし、産直活動を盛り上げていきたいと思っています。

営業課レポート

播州白バラ会

創立40周年記念式典へ参加

6月8日(土)に播州白バラ会創立40周年記念式典が開催されました。

播州白バラ会は、主に姫路市内をエリアとする宅配販売店の店主会で、当組合からは小前組合長、武本筆頭理事、山下監事、販売部より堀部長含め3名出席しました。また、他地区の白バラ会も招待し、岡山地区の東中国白バラ会より古米会長(有)山陽乳



生産者の岸本さん(写真右上)と谷永さん(写真左※右側)にご参加くださいました。新入職員の松尾さん(写真右下)も積極的に組合員の皆さんと交流しました。



販)、広島地区の広島白バラ会より三上名誉会長(あさがお乳食(株))も出席され、播州白バラ会での宅配取組みなど情報交換をさせて頂きました。

式典では、播州白バラ会の井上会長(相生販売店)、森澤役員(太子販売店)より武本筆頭理事、山下監事へ日頃の感謝の気持ちを込め、生産者功労賞として表彰状と記念品が贈られました。

式典では播州白バラ会の井上会長が、今後も50周年、60周年を目指し宅配牛乳を盛り上げたい、とこれからの発展に決意を新たにされました。

記念式典のようす



製造管理課レポート

本年度工場見学来場者

3698名達成!!

6月15日(土)、大山乳業農協の本年度工場見学来場者が3698名に達し記念品を贈呈するセレモニーが行われました。

3698という数字は、「牛乳屋↓ミルク屋↓3698」のごろ合わせで、大山乳業農協を表した数字として大山まきばみるくの里の電話番号などにも使用されています。

記念すべき3698番目のお客様は、広島県よりお越しの溝岡さんご家族で、製造部の竹蔵部長から記念品を受け取り、大変喜んでおられました。

今後も沢山のお客様にご来場いただけるような取り組みを行っていきたいと思います。



溝岡さんご家族、おめでとうございます!!

第3回 毎日の〇〇+牛乳

暑さ本番の7月、子ども達にとっては楽しみいっぱいの夏休みです。私の夏休みの思い出の1つに、毎日のバスケ部の練習があります。当時は、部活中に水分を摂ることはタブーで喉カラカラのまま、2時間みっちり走ったり、飛んだりしたものです。今は熱中症予防のため、運動中の小まめな水分補給が必須とされていますが、当時の練習で熱中症に罹った人というのは記憶にありません。現代人は弱くなってしまったという事なののでしょうか？

調べてみると、確かに患者数は近年増えています。原因は、ヒートアイランド現象のような環境の変化もありますが、1995年以降熱中症の診断基準が変わり、以前は別の病気として扱われていたものが熱中症として扱われるようになった事が大きいそうです。さらには高齢化が進み、熱中症に罹りやすい年齢層が増えているのも一因とのこと。

ご家庭では、エアコンや扇風機で暑さを和らげつつ、喉が渇く前に水分や塩分を適度に摂り、体調に気遣って頂きたいと思います。

工場でも給茶器を設置したり、塩飴を常備するなど熱中症で倒れることがないように配慮しています。

そして熱中症対策で大切なのは、日頃から暑さに負けない強い体づくりです。そのためには適度な運動とその後の牛乳・乳製品の摂取が有効です。^{※1}

ぜひ、毎日の運動+牛乳・乳製品の摂取で健康な体をつくりましょう！

※1 詳しい情報は「Jミルクのホームページ」をご覧ください



酪農体験

浦安小学校の児童が工場&牧場見学に訪れました



琴浦町立浦安小学校の児童32名が、社会科学見学の授業として大山乳業本所工場と琴浦町のリバーズファームを訪れました。工場見学では見学通路からの製造ラインを見ながら説明を受け、PRビデオを鑑賞し、質問コーナーでは児童たちからのたくさん質問にスタッフが答えました。

児童からの質問には、「1番の人気商品は何ですか?」「白バラ牛乳がおいしい理由はなぜですか?」などの素朴な疑問から、「出荷トラックは何度で運ぶんですか?」といった具体的な質問まで様々なものがあり、スタッフはひとつひとつ丁寧に答えました。



工場見学のようす

牧場見学ではリバーズファームの川本さんに施設の案内をしていただきました。

牛が1日に食べるえさの量、生まれてからお乳を出すようになるまでの期間など、説明を受けながら牛舎を回り、児童たちが聞き漏らしの無いように一生懸命メモを取る姿が印象的でした。



牧場見学のようす(リバーズファーム)

児童の中には牛を初めて間近に見る子も多く、その迫力に驚くとともに、牛を大切に育てている酪農家の仕事を学びました。

私のオススメ

営業課の前田です！

今回オススメするのは、ツイッターなどでも大反響だったこの商品「カントリーマアム 白バラコーヒー」です。

7月2日から大山乳業農協直売所や鳥取県周辺エリアのお土産店、道の駅、高速道路PA・SA等で発売されています。

今回(株)不二家さんとのご縁があり、人気商品のカントリーマアムと大山乳業農協の白バラコーヒーのコラボが実現しました。

外パッケージは白バラコーヒーをイメージしたのはもちろんのこと、個包装のパッケージにカウイーを採用するなど、遊び心のある製品が完成しました。

ぜひ一度お試しください。



個包装パッケージは全5種類。いろいろなボースのカウイーを探してみてください！

公益財団法人鳥取県畜産振興協会 乳用牛放牧預託牛成績状況報告

単位：頭 令和元年6月30日現在

牧 場 名		区分	頭数	内 訳									
				育成牛	種付け対象牛			妊娠牛（月齢）	17以下	18～20	21以上	妊娠牛中のET	
					うち種付中	未種付	うち妊鑑待ち						
鳥取放牧場	乳牛	459	248	131	110		35	21	80	49	22	9	19
	割合（%）	100	54	29	24	8	5	17	61	28	11	24	
	鳥取放牧場計	乳牛	459	248	131	110	35	21	80	49	22	9	19
	割合（%）	100	54	29	24	8	5	17	61	28	11	24	
大山放牧場	大山放牧場	乳牛	476	208	144	113	48	31	124	43	65	16	23
		割合（%）	100	44	30	24	10	7	26	35	52	13	19
	俵原牧野	乳牛	136						136	15	93	28	46
		割合（%）	100						100	11	68	21	34
	大山放牧場計	乳牛	612	208	144	113	48	31	260	58	158	44	69
		割合（%）	100	34	24	18	8	5	42	22	61	17	27
	総 計	乳牛	1071	456	275	223	83	52	340	107	180	53	88
		割合（%）	100	43	26	21	8	5	32	31	53	16	26

※1 種付けは、13ヶ月以上、体高127cmで実施

※2 妊娠牛月齢の割合及び妊娠牛中のETの割合は、それぞれ妊娠牛中の割合

ET実績（乳牛）

※実施数、受胎率は鑑定済みのもの

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.05	42	23	55%
H30.06	34	15	44%
H30.07	36	15	42%
H30.08	34	13	38%
H30.09	52	29	56%
H30.10	61	30	49%
H30.11	58	33	57%
H30.12	37	21	57%
H31.01	37	18	49%
H31.02	59	27	46%
H31.03	57	27	47%
H31.04	29	13	45%

AI実績（乳牛）

年月	実施数	受胎数	受胎率
H30.05	103	60	58%
H30.06	82	49	60%
H30.07	58	21	36%
H30.08	96	48	50%
H30.09	113	61	54%
H30.10	121	76	63%
H30.11	144	82	57%
H30.12	115	62	54%
H31.01	114	58	51%
H31.02	108	59	55%
H31.03	126	68	54%
H31.04	104	54	52%

令和元年6月分 生乳出荷量別生産者戸数

出荷乳量	出荷戸数（戸）	
	令和元年	平成30年
100t 以上	13	13
80t 以上 100t 未満	3	4
60t 以上 80t 未満	10	6
40t 以上 60t 未満	10	16
20t 以上 40t 未満	32	27
10t 以上 20t 未満	23	24
10t 未満	21	30
計	112(+2)	120

輸入粗飼料の情勢

品 目	今後の改定要因			特 記 事 項
	品代	為替	フレート	
フレート			↑	2020年1月から船舶燃料に含まれる硫黄分を大幅に減らす取り組みが求められている。多額のコストが掛かるため海上運賃へ転嫁されてくると予想される。また、このところの原油相場の影響もあり、7月～9月のバンカーサーチャージを各船社とも値上げしており、10月～12月以降はこれに加えて新基準の重油コスト増分が反映される。
ビートパルプ	→	→	↑	冬場の歴史的な寒波と大雪、春先の冷涼・多雨の天候により作付に大きな後れが発生している。特にミネソタ州南部とミシガン州の状況は悪く、作付の遅れ、面積の減少が見られる。日本向け主力のミネソタ州及びノースダコタ州では、作付は遅れているものの、その後の生育は大きく悪化はしていない。新穀の相場は、作付及び生育の遅れやトウモロコシの直近の相場、さらには物流経費の上昇、全体の需給バランスなどを受け判断されると見られる。
スーダングラス	→	→	↑	7月1日時点の作付面積は昨年同期比で微減となっているが、18年産の繰越在庫も若干量あることから、供給力には問題はない。これまでのところ品質は良好なようだが、一部では昨年と同様茶葉が散見される圃場もある。
アルファルファヘイ	↑	→	↑	コロンビアベースン全体では1番刈の50～70%で何らかの雨当たり被害に遭っており、残りは雨を避けたため刈遅れ品質のものが大半で、高成分かつ良品の発生割合は限定的となっている。産地相場は、18年産の繰越在庫が過去に例を見ないレベルで少なく、国内外の需要も堅調な中、昨年同時期に比べ\$10～20ドル/トン前後上昇して取引をスタートしている。
USチモシー	↓	→	↑	1番刈の収穫は総じて順調に進んでおり、主産地であるコロンビアベースンおよびエレンズバーグでの収穫は終盤に差し掛かっている。大多数の圃場が良い色目を保っており、今のところ殆どの圃場で上級品の発生が中心となっている。
カナダチモシー	↓	→	↑	アルバータ州南部レスブリッジ地区では、生育状況は非常に良好である。収穫作業は例年並みの7月初旬から開始される見込みとなっている。アルバータ州中部クレモナ地区では、現時点での生育状況は良好で、現在の草丈は60～65cm程度で、ちょうど出穂が見られ始めた。米国産チモシー相場の軟化を受け、19年産のカナダ産チモシーは昨年よりも安価になることが期待される。
オーツヘイ	→	→	↑	初期生育は順調に進捗している。一方、播種作業前後で降雨が少ない状態が続いていた西豪州においても6月上旬以降にようやく降雨があり、現時点では順調な生育に入ったと言える。昨年の早魃の影響から、引き続き豪州国内からの引き合いが強く、深刻な早魃に見舞われた東豪州では、特に堅調な需要が続いている。産地側では、在庫が限られている状況下ではあるものの、北米産の新穀価格の動向を見ながら輸出価格の調整に入りつつあり、一部のグレードで値下げを唱えるサプライヤーも出てきている。
クレイングラス	↓	→	↑	産地インペリアルバレーでは2番刈の収穫作業が中盤を迎えており、色目も良く品質は全般良好と評価できる。日本からの引き合いは引き続き堅調に推移し、韓国からの引き合いは良品については堅調なもの、米国産チモシー及びストローの価格軟化、加えて輸入割当枠の関係から良品以外のものへの需要は減退している。このため、産地相場は旺盛な需要に支えられ、良品については堅調に推移しているものの、それ以外の茶葉、変色、雑草混じりのものの相場はやや軟化傾向にある。
ストロー類	→	→	↑	アニュアルライグラスは殆どの収穫が終了しており、早ければ7月上旬から出荷が始まる見込みである。産地では、圃場で雨当たり被害を受けたものでも、稼働を始めたバイオマス工場が使用すると見られており、ストローの供給力は減退すると予測されている。

第13回 中部酪農祭が開催されました

令和元年6月22日(土)鳥取県中央家畜市場に於いて、中部酪農協議会主催の第13回中部酪農祭が開催されました。

審査員は、オールジャパンブリーダーズサービス(株)高藤 裕氏、デーリィプリンセスは総務課の田上理沙子さんでした。当日は、一時雨に見舞われましたが、レベルの高い乳牛が多数出品されました。また、販売部・女性部による乳製品の試食コーナーが設けられ、多数の来場者で賑わいました。お昼は食堂で交流会を行い、抽選会では豪華景品が用意され、とても盛り上がりました。開催にあたり、ご支援・ご協力頂いた関係者並びに出品者の方々にこの場をお借りしてお礼を申し上げます。

各部の上位牛は以下の通りです。



集合写真

各部グランドチャンピオン	本牛名号	生年月日	父牛名号	出品者	地区名
育成の部グランドチャンピオン	TMF ナタリー ドア ジェラルド アンナ エコー ET	H30.08.21	ド ア マ ン	(同)三浦牧場	琴浦町
未経産の部リザーブチャンピオン	オームスビー ペツシエ ボブ	H30.04.24	アルタ 5 G	(株)岡村牧場	琴浦町
経産の部グランドチャンピオン	パーフェクション モーグル ゴールダ	H27.10.24	モ ー グ ル	武本 正道	倉吉市

	順位	本牛名号	生年月日	父牛名号	リードマン	地区名
1部 (育成4~7ヶ月) 11頭出品	1	ヒースクリフ ジョセフイン ハイ メモリー	H30.12.02	ハイ オクターン	倉吉農業高校	倉吉市
	2	トライデー エクスパンダー アツシユリン	H30.12.01	エクスパンダー	岡村 彩愛	琴浦町
	3	名号申請中	H31.01.18	ド ア マ ン	岡村 陸翔	琴浦町
	11	コダニファーム ジヤムナ スカツチ	H31.01.17	ジ ヤ ム ナ	小谷 まこ	倉吉市 BS

	順位	本牛名号	生年月日	父牛名号	出品者	地区名
2部 (育成7~12ヶ月) 6頭出品	チャンピオン	TMF ナタリー ドア ジェラルド アンナ エコー ET	H30.08.21	ド ア マ ン	(同)三浦牧場	琴浦町
	2	ヒースクリフ ベル カレン マキ	H30.11.04	カ レ ン	倉吉農業高校	倉吉市
	3	グランデイル スラムダンク チャント	H30.06.24	スラムダンク	(株)岡村牧場	琴浦町
3部 (未経産12~18ヶ月) 5頭出品	チャンピオン	オームスビー ペツシエ ボブ	H30.04.24	アルタ 5 G	(株)岡村牧場	琴浦町
	2	カレツジヒル R 2 レデイ ガガ	H30.02.25	アルタ R 2	農業大学校	倉吉市
	3	ミキファーム アーチライバル マリナ	H30.01.15	アーチライバル	(同)三浦牧場	琴浦町
4部 (未経産18~26ヶ月) 3頭出品	チャンピオン	ダイセンビユー P マウイ 2357	H29.04.30	マ ウ イ	真山 健太郎	琴浦町
	2	ミキファーム ドアマン ラデュツク	H29.09.29	ド ア マ ン	(同)三浦牧場	琴浦町
	3	カワモトファーム マミー キャピタルゲイン ヒヨツコ	H29.09.23	キャピタルゲイン	川本 和昭	琴浦町
5部 (経産3才未満) 2頭出品	チャンピオン	オグランド ユニクス ミツチー	H29.03.06	ユ ニ ク ス	小椋 剛	琴浦町 BU
	2	WRフロステイ フェアリー コハル	H29.02.08	シ ド	陰山 光彦	琴浦町
6部 (経産3才以上) 3頭出品	チャンピオン	パーフェクション モーグル ゴールダ	H27.10.24	モ ー グ ル	武本 正道	倉吉市 BU
	2	ミキファーム ザウルス エレベーション	H27.09.07	ザ ウ ル ス	(同)三浦牧場	琴浦町
	3	ガイナシイ ストーン ミニー	H27.11.19	ス ト ー ン	徳丸 洋一	琴浦町

BS:ベストショウマン BU:ベストアダー



大山乳業農業協同組合 からのお知らせ

D a i n y u I n f o r m a t i o n

理事会だより

令和元年6月20日理事会
にて次の議案が決議されました

【6月20日提出議案】

- 第1号議案 四半期監事監査指摘に対する回答について
第2号議案 5月末経営検討について

営業課

新商品を発売しました

7月4日
発売

【新発売】

白バラアイスバニラ

バニラの上品な香りとミルクのkokが味わえるさっぱりとした口どけのカップアイスです。パッケージにはお馴染みの白バラ牛乳デザインを使用しました。
(内容量:125ml)



販売先:量販店など

※詳しい販売先については営業課へお問い合わせください

募集中

【らくのうギャラリー】

皆さんからの投稿をお待ちしています

皆さんの趣味や大切にしているものなどを紹介する「らくのうギャラリー」への投稿をお待ちしています!!

直接お持ちいただく際は、指導課 山根または企画室 福井・佐伯まで。メールで投稿いただく際は、件名へ【らくのうギャラリー行き】とご記入頂き、email@dainyu.or.jpへお送りください。

イベント情報

大山まきば祭について

第21回 大山まきば祭

開催日:令和元年9月29日(日) 10:00~15:00

会場:鳥取県西伯郡伯耆町水無原2-11
大山まきばみるくの里【芝生広場】

今年も様々なイベントをご用意して、皆様のご来場をお待ちしています!

ステージイベント

- ・白鳳太鼓(琴浦町) ・ビンゴ大会 ・乳搾り大会
- ・傘踊り演舞「踊乱華(おどらんか)」
- ・舞台「四十七大戦」特別イベント
- ・ヒップホップダンス「ディーバ」(大山町)
- ・ダンス/歌「ホワイトラビッツ」(倉吉市)

まきばホールイベント

- ・バター作り体験(みるく工房)
- ・骨密度測定

芝生イベント

- ・トラクター展示 ・ポニー乗馬体験
- ・大抽選会 ・ロールペイントコーナー
- ・白バラ製品アウレットセール
- ・グラウンドゴルフコーナー
- ・白バラ製品の試飲・試食コーナー

模擬店

- ・やまびこおこわ ・みるくもち ・みるく鍋
- ・ジュース/ノンアルコールビール

※イベント内容は変更となる場合があります

ホームページ

からのお声



■ 白バラコーヒーが大好きです。とっても美味しいです。おいしい牛乳を生産して下さってありがとうございます。(兵庫県)

■ 娘も幼稚園の給食で白バラ牛乳を飲み始めました。パステライズなので、おいしいようで全部飲んでくれるそうです。(鳥取県)

■ 牛乳の味が濃くて美味しいです。いつも美味しく食べています。これからも美味しいものを作り続けてください。(京都府)

■ 白バラ牛乳のファンです。子どもが産まれて子どもたちにも安心して口にできる商品です。2人の子もたちが毎朝シリアルに牛乳を入れており、牛乳が少ないと文句を言うほど好きです。(東京都)

■ 一昨年より秋のまきば祭にもお邪魔しております。今年は子供も大きくなったので、牛乳絞りにエントリーできそうに楽しんでいます。今年もお祭りのことを知人に声をかけるつもりです。(鳥根県)

■ いつも美味しく頂いています。zipもみて、でてるー!と嬉しくなりました。これからも美味しいものたくさんお願いします。頑張ってください。(広島県)

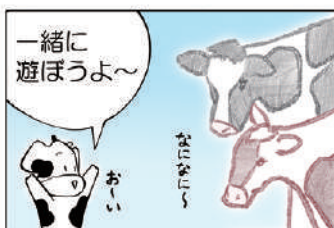
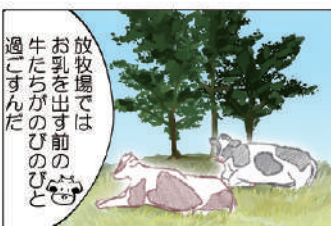
■ 県外の親戚が帰省したら、必ず白バラ牛乳&コーヒー牛乳を買って帰ります! 自慢のブランドです!(鳥取県)



カウイーの エブリディ!

さく:福井チーフ え:堀江あかね

放牧場で遊ぼう



編集後記

特集で紹介した「白バラ認証制度」は、鳥取県産の生乳に更なる付加価値を生む証になります。今後も良質な生乳を余すことなく、消費者の皆さんへ届けたいと思います。

酪農だよりに関するご意見ご感想は下記のメールアドレスまで

[email@daiyu.or.jp]
こちらのQRコードからも
メールアドレスを取得
できます▶



Daiyu-PICKUP!

白バラグッズ新商品 「白バラビッグクッション」を 発売いたします!

8月17日(土)より、白バラグッズの新商品「白バラビッグクッション」を発売いたします。白バラ牛乳・白バラコーヒー 200ml 紙パックの約120倍という巨大サイズで、リビング・車・寝室などどこに置いても存在感抜群です!

こちらの商品は大山乳業直売所のほか、白バラグッズ取扱店にて発

売いたします。

数量限定商品となりますので、ご希望の方はお早めにお求めください。詳しくは大山乳業ホームページにてお知らせいたします。



令和元年 10/12(土) 開催 カウイーの恋物語 第6章 秋の宍道湖 恋のクルージング

酪農家のお嫁さん大募集!!

宍道湖クルージング&交流パーティーで 素敵な出会いを見つけませんか?

20歳から45歳 くらいの独身女性 先着 15名

応募締切 令和元年 9月30日(月)

詳細はこちらのQRコードからご確認ください

今回は、昭和47年5月16日発行の酪農だより第124号。当時のアイスクリーム工場のような常時50名程度の職員で、日産6万個の生産を行っていました。



大山乳業「酪農だより」バックナンバーから 当時の様子を覗いてみます

あの日・あの時

酪農だより vol.690



大山乳業農業協同組合

発行責任者/小前孝夫 編集責任者/平野 浩
印刷所/山本印刷株式会社 発行日/令和元年7月20日

〒689-2393 鳥取県東伯郡琴浦町保37-1
TEL.0858-52-2211(代) FAX.0858-53-1501
https://daiyu.or.jp E-mail:email@daiyu.or.jp